

全国学力・学習状況調査から

師走の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度の4月に6年生が実施しました「全国学力・学習状況調査」における結果につきましてご報告いたします。

【小学校国語】

| | 本校の概要 | 今回の調査における課題 | 改善の方向 |
|-----------|---|--|---|
| 小学校 国語 | <p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>「話すこと・聞くこと」</p> <p>○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「書くこと」</p> <p>○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「読むこと」</p> <p>○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」</p> <p>○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> | <ul style="list-style-type: none">● 文中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができる。● 漢字を文の中で正しく使うことができる。 | <ul style="list-style-type: none">○ 主語と述語の関係を、文章を読む時も書く時も強く意識できるように指導していく。また、無解答率が高いことから、問題文の意味理解にも力を入れていく。○ 同じ音や同じ部分を持つ漢字との違いや、文脈の中での使い分けに着目できるように指導していく。 |
| | <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <p>「話すこと・聞くこと」</p> <p>○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「書くこと」</p> <p>○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「読むこと」</p> <p>○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> | <ul style="list-style-type: none">● 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができる。● 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 | <ul style="list-style-type: none">○ 必要な資料を集め、得た情報を適切に関係づけて書くことを指導していく。○ 文中の具体的な行動や言葉など、根拠になる叙述を見付けることができるように指導していく。 |

【小学校算数】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

小学校算数

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

「数と計算」

- 全国平均に比べ、下回っている。

「量と測定」

- 全国平均に比べ、下回っている。

「図形」

- 全国平均に比べ、下回っている。

「数量関係」

- 全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

「数と計算」

- 全国平均に比べ、下回っている。

「量と測定」

- 全国平均に比べ、下回っている。

「図形」

- 全国平均に比べ、下回っている。

「数量関係」

- 全国平均に比べ、下回っている。

- 1に当たる大きさを求める問題場面では、除数が1より小さい小数である場合でも除法を用いることができる。

- 180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる。

- 百分率を求めることができる。

- 敷き詰め模様の中から図形を見だし、その構成要素や性質を基に、一つの点の周りに集まった角の大きさの和が360°になっていることを言葉や指揮を用いて記述できる。

- 示された方法を解釈・適用し、条件に合う事柄について、適切に判断することができる。

- 示された考えを解釈し、条件を変更した場合について考察した数量の関係を、言葉と数を用いて記述できる。

- 図や数直線などに表す活動を位置付け、計算の意味理解を基に演算決定できるように指導していく。また、除数が1より小さい小数の場合、商は被除数より大きくなることを量感をもって捉えていけるように指導していく。

- 1直角、2直角…を基にして、「測定する角の大きさは、何度以上、何度以下になりそうか」と見当を付けさせるよう指導していく。

- 問題場面から基準量と比較量を正しく捉えられるように指導していく。また、比較量が基準量のどれくらいなのかを見通しをもたせる指導を大切にしていく。

- 敷き詰められている正多角形の一つの角の大きさを理解し、それがいくつ分集まっているのかを説明させるような指導をしていく。

- 問題解決に適した情報を収集し、表に整理することを通して条件に合う事柄について適切に判断できるような指導をしていく。

- 児童自らが数量の関係を見だして考察し、さらに、その数量の関係が他の場合でも成り立つことを確かめて、確かめた数量の関係を的確に表現できるように指導をしていく。

【小学校理科】

| 本校の概要 | 今回の調査における課題 | 改善の方向 |
|--|--|---|
| <p>【領域】</p> <p>「物質（粒子）」 ○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「エネルギー」 ○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「生命」 ○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「地球」 ○ 全国平均に比べ、下回っている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 実験結果を基にした分析と正対したまとめができる。 ● 実験結果の見通しを伴った解決の方向性を構想し、より妥当な考え方ができる。 ● 複数の情報を関係付けながら、多面的に分析して考察できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 実験結果を整理して結論をまとめる際に、結果を事実としての確に捉え、事実から解釈したことを「実験の結果からいえること」として言及することができるように指導していく。 ○ これまでの学習内容や生活経験と関係付けて根拠のある予想や仮説を発想し、図などで表現することができるように指導していく。 ○ 子どもたちが目的に応じて収集した複数の情報から、どのようなことが言えるのかを話し合うことを通して得られた要点を整理し、それらを関係付けながら多面的に分析できるように指導していく。 |

児童質問紙の結果によると、「自分にはよいところがあると思いますか」では、肯定的な回答が全国84％に対して本校は68.2％と自己肯定感が低い結果となっています。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」では、全国85.3％に対して本校は72.8％となっています。本校では、児童の良いところを認め励ますことを基本的な立ち位置として子どもに接していくよう共通理解しています。しかし、そこにはまだ子どもの認識と差があるようです。子どもの自己肯定感を高める関わりを、さらに進めていくことを大切にしていきます。

学習面では、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」では、全国67.6％に対して本校は47.7％でした。また、「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」では、全国62.6％に対して本校は38.6％でした。「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」では、1時間以上が全国66.2％に対して本校は52.2％、1時間未満全国31.2％に対して本校は43.1％となっています。家庭での勉強時間を増やすことも大事ですが、宿題や家庭学習を計画的に行うようにすることが重要だといえます。

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」では、全国63.8％に対して、本校は25％となっています。今回の調査では、テレビや新聞のニュースを見たり読んだりすることが少ないことも分かっており、高学年になるにつれ社会に対して関心を向けさせる手立てを講じることも大切なことといえます。